

## 令和8年度 横浜旭陵高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和8年5月23日(土)10:00~12:00
- 2 場 所 県立横浜旭陵高等学校 B棟1F 多目的室
- 3 出席者 学校運営協議会委員:6名 (若月様、齊藤様、西山様、杉山様、長倉様、大和田様)  
学校関係者:7名(管理職・総括教諭他)

### 4 内 容

- 学校運営協議委員 委嘱
- 出席者紹介
- 会長・副会長選出  
会長 PTA会長 齊藤様  
副会長 竹村校長

#### (1)校長挨拶

新たに立ち上げを進めている学校については、本校のレガシーであるICTを活用した授業推進を柱とするものとして設置するよう指示があり、現在は旭高校を中心に検討・準備が進められています。

本校は今年度が最終年度となり、在籍しているのは卒業年次生のみです。生徒数の減少に伴い教職員数も減っていますが、多様な行事を維持していく必要があるため、20数名の教員全体で協力するとともに、さまざまなスタッフの支援を受けながら運営を行っています。

委員の皆様には、最後の一年とはなりますが、貴重なご意見をいただきながら、生徒たちをしっかりと卒業へ導いてまいりたいと考えております。

#### (2)令和7年度学校評価及び令和8年度学校目標について

##### ・令和7年度学校評価について

昨年度末に校内評価を行ったのち学校関係者評価をいただいて総合評価をしています。

##### ・令和8年度学校評価目標について

教員数減・生徒数減を考慮しながら働き方改革を進めていきます。

#### (3)各グループからの報告

##### 学事情報・進路支援G 千葉総括教諭

##### ・学事について

これまでの教育課程や成績処理につきましては、先生方の手厚いサポートのおかげで順調に進んでいます。

現在は、来週に控えた定期試験に向けて校内環境の整備を進めているところです。

また、9月には進学や就職に向けた本格的な準備が始まります。本校には詳細な成績処理マニュアルが完備されていますが、決して油断することなく、万全の体制でサポートを行ってまいります。

なお、現在日本語指導を必要とする生徒が4名在籍しております。彼らの進路実現に向けても、組織的なチーム体制でしっかりと対応してまいります。

##### ・進路について

昨年度末の協議会以降、進路状況に大きな変化はありません。昨年度は「進路決定率89%」を達成いたしました。

本校の生徒の進路先は多岐にわたるため、教員の皆様にはそれぞれの専門分野における経験を生かした熱心なご指導をお願いしています。私自身は、全体の状況を俯瞰しながらバックアップに努めます。

実績と今後の予定については以下の通りです。

進学実績：昨年度は開校以来初となる国立大学への合格者が1名出ました。例年の傾向としては専門学校への進学者が多くなっています。

就職実績と現状：昨年度は縁故を除き34名が就職いたしました。また、1,500社を超える企業様から求人票をいただいております。今年度の就職希望者は現在38名です。

今後のスケジュール：再来週には外部の企業関係者様をお招きし、実践的な面接練習を実施いたします。また、大学・短大・専門学校への進学希望者については、定期試験終了後から本格的に志望理由書の作成に指導を進めてまいります。

#### 研究開発・総務管理G 持丸総括教諭

##### ・教育課程・学習指導」について

本校では、主体的・対話的で深い学びの実現 協働的な教育活動を通して、生徒の学習意欲を高め、課題解決力を育成することを目標としています。令和8年度は、その中でも生徒の自己肯定感の向上と、主体的・対話的な深い学びの充実、また、1人1台端末の活用も進めながら、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図ってまいります。このような取り組みを通じて、生徒が「できた」「考えられた」「自分にも成長がある」と感じられる授業づくりを進めていきたいと考えています。

##### ・学校管理・学校運営」について

令和8年度は、完校に向けた取組を進める大切な時期になります。その中で、生徒が安全で安心して学校生活を送ることができるよう、防災教育や安全指導の充実、ICTを活用した情報共有学校、家庭、地域をつなぐ連絡システム「すぐー」等を活用した情報共有と業務の効率化、そして校内環境の整備や備品・資料の整理を計画的に進めていきたいと考えています。限られた人員の中でも、生徒への支援や学校運営が円滑に進むよう取り組んでいきます。

教育活動に支障が出ないよう、校内環境の維持に努めます。

#### 自主活動支援・生徒成長支援G 伊藤総括教諭(山川教頭代読)

##### ・生徒指導・支援について

自己有用感や規範意識を高めるとともに、安心・安全な学校生活の実現に向けた支援を行う。スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)、外部機関と連携し、教育相談の充実に重点を置きます。

##### ・生徒会について

現役の委員が完校までその役割を担う。旭高校との連携を含め、生徒による主体的で積極的な取組が推進されるよう支援します。

##### ・部活動について

生徒数は減少していますが、すべての生徒が引退を迎えるまで、活動が充実したものとなるよう十分な支援を行っていきます。

#### ・学校行事について

多くの行事が予定されている。教職員数の減少に伴い工夫が求められるが、生徒が寂しさを感じることはないよう、実施に向けて検討を進めています。

芸術鑑賞会:例年どおり7月下旬に実施予定。内容は落語で、生徒参加型のコーナーも設けています。

旭陵祭:本校最大の行事。外部との連携を図りながら実施予定であり、詳細については現在検討を進めています。

#### (4) <協議>『学校目標』および今年度の本校に期待する取組について

##### 【若月様】

四季の森幼稚園には、毎年本校の生徒を受け入れていただき、その後「保育基礎」の授業も実施させていただいております。高校生を受け入れていただけることは大変ありがたく、子どもたちも非常に喜んで関わっております。

一方で、大学における保育士養成課程については、募集停止といった動きが広がっており、特に東京近郊では約30校、短期大学を中心に大きな課題となっています。このままでは、2～3年後に保育士不足が生じる恐れがあります。子どもに関わる重要な仕事に進む人材が求められているにもかかわらず、養成の場が縮小している点は大きな課題です。

今後、保育士の減少が懸念される中ではありますが、本校としては、こうした経験を通して少しでも多くの生徒が保育の道に関心を持ち、進路として選択してくれることを期待しております。

##### 【齊藤様】

教職員の減少により人手が不足する場面においては、PTAとしてできる限り協力を惜しまず、積極的に支援していきます。

##### 【西山様】

自分の経験から、視野を広げる機会は、実際の経験を通してこそ得られるものであり、容易に広がるものではないと感じています。

そのため、地域との関わりは非常に重要であると考えます。残りはあと一年ではあるが、生徒には積極的に地域へ出て行ってほしい。お祭りや防災行事に限らず、興味のあることがあれば、ぜひ気軽に連絡してほしいです。

また、若い人たちの考えをぜひ聞きたいと考えており、その行動力にも大いに期待しています。

##### 【杉山様】

最近では、高校生によるボランティア登録や、ボランティアに関する相談が増えています。

実際にボランティアを経験したことをきっかけに、その活動先に就職した例も見られます。

ボランティアは、自分の興味や関心のある分野を体験できる有効な機会の一つとして活用できるのではないかと考えています。

地域のイベントや行事に関する情報、またボランティア受け入れ先としての依頼もあるため、今後さらに連携を深めていければと考えています。

#### 【長倉様】

動物園の隣に学校があるという環境は、なかなか得られるものではないため、ぜひ積極的に活用してほしいです。

また、生徒・教員ともに少人数で過ごす環境もまた、非常に貴重な経験であるといえます。こうした環境の中で、自分たちだからこそできたことがあったと最後に思えるよう、しっかりとサポートしていくことが大切だと考えます。

なお、動物園と関わった取組について「何かやってみたい」といった希望があれば、ぜひ気軽に相談してほしいです。

#### 【大和田様】

昨年度は、障害のある方々とモルックを一緒に行う予定であったが、感染症の影響により中止となり、モルックの貸し出しのみとなった。今年度は、生徒と障害のある方々が一緒にモルックを楽しめる機会を実現できればと考えています。

また、ICTの活用については、事業所においてAI活用に伴う個人情報流出の懸念があり、環境整備の必要性が高まっていると認識している。授業における情報リテラシーの指導や、その具体的な取組について参考となる事例等があれば、ぜひ教えていただきたいです。

さらに、教員数が少ない環境だからこそ生まれる関わりやメリットもあると考えている。この一年間、生徒たちがそうした良さを実感しながら充実した学校生活を送れるようにしてほしいです。

#### (5) 事務連絡

次回は令和9年3月6日(土) 13:30～を予定